

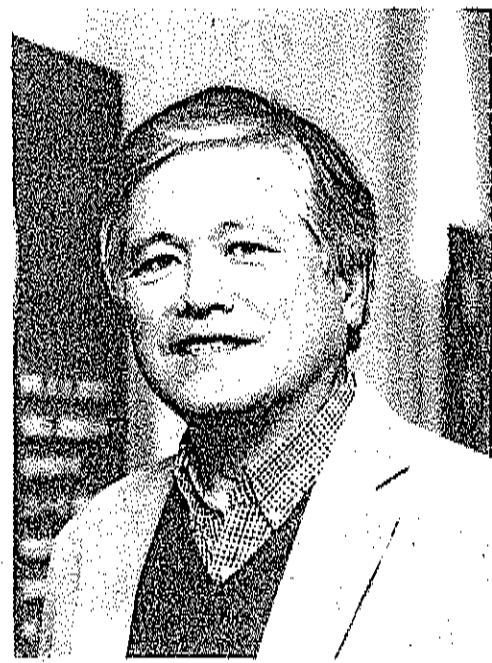
# 汚染水放出

## 漁民の努力を無に

国、東京電力が東電福島第一原発事故による汚染水（アルプス処理水）の海洋放出を強行したことに、漁民から怒りの声が広がっています。全国の沿岸漁民1万人以上が加わるJCFU全国沿岸漁民連絡協議会の二平章事務局長に聞きました。

（内田達朗）

全国沿岸漁民連  
二平章事務局長



「海洋放出は許せない」というのが、浜（漁民）の声です。「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という約束を破り、石油備蓄用大型タンクでの保管など海洋放出以外の方法の真剣な検討もせず、放出ありきで進めたことに怒りでいっぱいです。福島県漁連はもちろん、全国漁業協同組合連合会（全漁連）も「反対は変わらない」と抗議の声をあげています。全漁連は定期総会で反対の特別決議も採択しており、放出反対は日本全国の漁民の声で

は、試験操業を続けながら、流  
本格操業の直前  
原発事故のあと、福島の漁民  
通業者、卸売市場関係者と話し  
合ひ、漁獲量、魚種などを増や  
す努力を積み重ねながら、水揚  
量を事故前の2割にまで回復さ  
せてきました。そして今年から

は本格操業へ移行することを決  
めていたのです。その矢先の海  
洋放出に、「私たちの努力を無  
にするのか」と漁民たちが怒り  
の声をあげるのは当然です。

岸田政権は、「風評被害」へ  
の対策を掲げ、放出しても「科  
学的に安全」と宣伝していま  
す。今はすべての魚種で放射性  
物質は安全基準以下の数値とな  
っていますが、「食べたくない」  
と考える人もでるのは当然で  
す。

「風評被害」が起きるのは、  
専門家が具体的に示した海洋放  
出以外の方法を検討せず、国内  
外への十分な事前説明を欠いた  
まま放出を強行したからです。  
それなのに「中国の輸入制限は  
けしからん」というのは筋が通  
りません。前農水大臣の「焚  
輪（想定外）」との発言は、周  
辺国の対応を見誤るもので漁民  
に対して無責任です。

「風評被害」の根本原因は、  
国や東電が国内外から信頼され  
ていないからです。数々の警告  
を無視し「日本の原発は事故を  
起こさない」と強弁し、事故の  
責任は今もって誰もとってはい  
ないのです。

今すぐ中止せよ

汚染水の放出で魚の価格が下  
落し、また出荷停止の被害も出  
始めています。

国は、被害対策として約10  
00億円を水産事業者支援に計  
上しましたが、これ以上事態を  
悪化させないためには、風評被  
害を起す汚染水の放出を今すぐ  
中止することです。そのうえ  
で、①広域遮水壁を建設して地  
下水流入を防ぎこれ以上汚染水  
を増やさないこと、②大型タン  
クでの保管、モルタル固化など  
海に流さない別の汚染水対策に  
踏み出すことなのです。